

水環境保全計画の策定

市では、平成 24 年 2 月の環境審議会からの答申を踏まえ、平成 24 年 10 月に新たに「川崎市水環境保全計画」を策定しました。

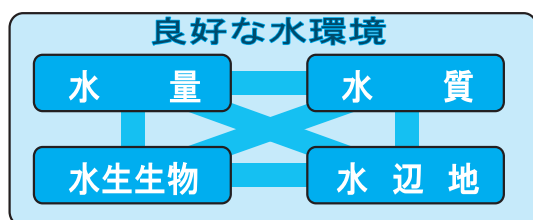
これまでは、河川、地下水等をそれぞれの場の視点で捉え、水質改善の施策を重点的に進めてきました。これらの対策により河川の水質が改善傾向にある等、一定の成果が得られています。一方、近年の土地利用状況の変化等に伴い、健全な水循環が損なわれつつある等、良好な水環境を実現するための新たな取組が必要となっています。

この計画では、今後の水環境をどのようにすべきかとの観点から、良好な水環境像を定め、水環境を構成する水量、水質、水生生物、水辺地の構成要素を総合的に捉えた施策を推進するため、11 の施策の方向と 65 の主な施策を設定しています。

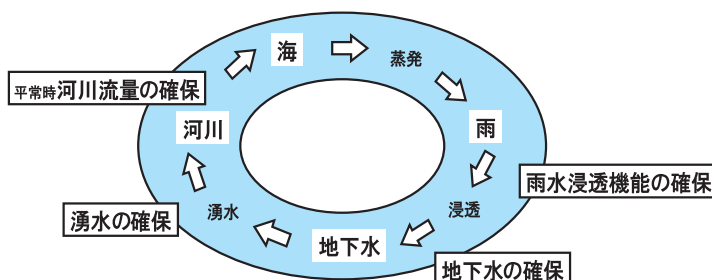
◆良好な水環境像

人と水のつながりが回復され、市民がやすらぎ、安心できる水環境

<良好な水環境のイメージ>



<健全な水循環のイメージ>

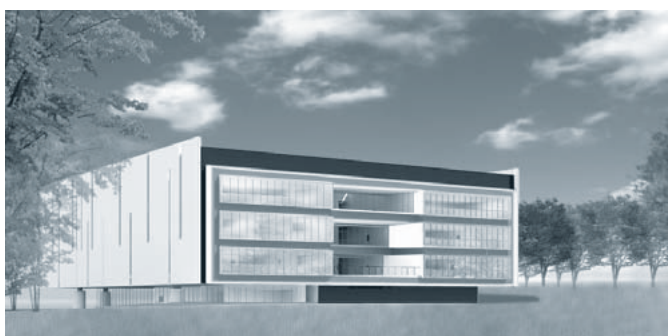


環境総合研究所開設

川崎市環境総合研究所が、平成 25 年 2 月、川崎区殿町 3 丁目の国際戦略拠点「キングスカイフロント」の中核施設「川崎生命科学・環境研究センターLiSE（ライズ）」の3階にオープンします。

環境総合研究所は、従来の公害研究所、公害監視センター、環境技術情報センターの3つの施設が統合して発足するものです。ここでは、

地域の環境改善と環境汚染防止のための監視・調査・研究に加えて、川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進や、環境技術情報の収集と発信などを行なうほか、都市と産業の共生を目指した研究に取り組むなど、外部研究機関や企業と幅広く連携しながら、環境に関する総合的な研究を進めます。また、多様な主体と連携した環境教育・学習の実施などを通じて広く市民の方にも参画していただきます。



「川崎生命科学・環境研究センターLiSE」完成予定図